

たった3分で読める!

エステ機器を使うなら必ず知ってほしい

施術効果を上げるためのお話

世界では約130年前から研究され、今やスポーツの最前線でトップアスリートもケアやトレーニングに活用する高周波。今回は日本人のほとんどがまだ知らない、高周波(ラジオ波)の世界における常識(スタンダード)と、施術を通じて人体の中で起こる現象と効果についてお伝えしてまいります。

Vol.2

低周波にない高周波の魅力とは?

A. 「細胞膜」を透過し、代謝促進を促すことができます。

低周波と高周波の違いは周波数

低周波(E.M.S)

Point! 細胞を透過しない→神経や筋膜に作用
→筋肉が動く・痛みをとる (低周波:1~1,200Hz)

高周波(E.C.S)

Point! 細胞膜を透過できる→細胞のイオンチャネルに作用
→細胞の代謝が促進 (高周波:10,000Hz以上)
※細胞膜を透過する周波数は、100KHz~10MHz

細胞が動くこと(ECS)で何が起る?

A. EMSで体を運動させるように、ECS※効果で細胞が鍛えられます。

人の身体は数十兆個の細胞からできています。シワやたるみ、ダイエットで重要な基礎代謝などもすべては細胞の動きが悪くなるのが原因です。高周波を流すことで、「細胞本来の動きを取り戻す」効果があることを知ることが高周波施術では重要です。

衰えた細胞

高周波

元気な細胞

高周波で細胞にアプローチすることで、ATPが増進し活性化する。

※...ECSとは、「Electrical Cell Stimulation」の頭文字を略したもので、高周波電流で細胞に刺激を与えて代謝増進効果を得ることです。

高周波(ラジオ波)は温熱じゃないの?

A. 細胞活性(ECS)とジアテルミー(温熱療法)の両方の効果があります。ただの温熱ではありません。

他にも高周波の効果として鎮痛、抗炎症、抗浮腫効果、デトックス、持続可能な組織再構築など様々な効果が認められています。私の知り得る限り、こんなに**万能なエネルギー**は他に類をみません。

高周波ってどこで使われているの?

A. 実は様々なシーン(用途)で使われています。

今では多くのオリンピックメダリストや誰もが名前を知る有名なプロスポーツチームにも重宝されています。日本でも正しい知識が普及すれば、今後もっと広い分野での使用とその効果が世の中に貢献していくと思います。

高周波を取り入れている主な分野

- スポーツコンディショニング
- トレーニング
- リハビリ
- エステティック
- フェムテック
- etc.

beauty world前にCHECK!

機器選びの知識をつけたい方必見!



大阪 オンライン有

驚くほど成功する
脱毛ビジネスセミナー

効果の出る脱毛機の「定義」から、集客ノウハウまで成功するポイントをお伝えいたします。

4月20日(水) 10:00~12:00
※現地参加の方は機器体験も可能

大阪 オンライン有

ダイエット市場に世界で一番簡単な施術で参入!

2兆円のダイエット市場に誰でも出来る簡単な施術で他店と3倍以上差をつける秘策とは?!

4月21日(木) 10:00~12:00
※現地参加の方は機器体験も可能

参加をご希望の方はコチラから!

開催場所: ビューティーキャラン本社 大阪市中央区道修町1-2-11 アルテビル道修町 お問い合わせ: 06-6223-4757

株式会社ビューティーキャラン WINBACK公認トレーナー

笹原 龍樹 (ささはら たつき)

年間全国300以上のエステサロンや鍼灸・整骨院、クリニック、プロスポーツチームを駆け回り、機器の正しい理論と考え方を伝えて回る美容機器の伝道師。自らの足で稼いだネットにはないリアルな情報や、工学部出身の知識を活かし、多数の論文や実験から導き出した誰も知らない美容知識で美容業界のウソと闇を暴き続ける。2018年度WINBACKアジアトップセールス。JSA認定ソムリエ取得、実家はお寺という異色の経歴の持ち主。

次回予告

痩身の本質は脂肪と筋肉へのアプローチではなかった!
最短で確実に効果のあげる痩身の真実を公開!

お楽しみに♡

数あるエネルギーの中で、私が高周波をおすすめする理由

ただ私はこれまで数多くの機器を使い、その理論を検証してきた中で、高周波を使う機器を他のエネルギーを使う機器と比べて一番自信を持ってお客様にご提案しています。

なぜ高周波が良いのか、一言でお答えすると、「高周波が私たちの細胞の中を通り抜け細胞代謝へ直接的な影響を与えることができるから」です。1890年フランスの科学者が細胞の原形質膜(細胞膜)への高周波電流の透過を発見し、ヨーロッパでは130年以上この電気と身体の関係が研究されてきました。細胞膜を高周波が透過することにより、細胞のイオンチャネルに直接働きかけ、さながら細胞にEMSを行うかのような作用が起こります。サプリメントも化粧品も多くのマシンも様々な健康法も、結局は細胞周りの環境を間接的に良くして細胞代謝を上げることを目的にしているといっても過言ではありません。それほど、細胞代謝は私たちの美や健康と直結しており、細胞に直接アプローチできる高周波は最も効率良く結果を出せるエネルギーだと私は考えています。

「前回のさらーいー」
施術効果を上げるには、機器の本質を理解することが大切

前回は、パンフレットやWEBサイトに書かれていることを鵜呑みにせず、物理法則や身体仕組みに照らし合わせ、非合理的な部分がないかしっかりと見定めることが「失敗しない機器選び」と施術効果を出すことには重要とお伝えいたしました。例えば、△低周波・中周波・高周波・超短波・極短波△と名前の付く商品が並んでいたとします。「極短波ってなんか凄そう。」と直感的に思う方も少なくないのではないのでしょうか。確かに極がついているとなんだかすごいエネルギーのように感じますよね(笑)。

しかし、重要なのは扱うエネルギーが、人体にどのような影響を与えるのかを理解することが大切です。人は常に新しいものに興味を持ちます。その為、新しい表現や言葉には惑わされがちです。売り手は常に手を変え品を変え、新しい表現や製品をより魅力的に伝える「キャッチコピー」を打ち出していきます。これ自体は営業努力なので悪いことではないですが、物理法則から大きく外れた「過度な表現」もエステティック業界では見受けられます。前回からお伝えしている「本質」が大切です。

効果を出すことは目的に合った「エネルギー」を選ぶこと

身体は様々な刺激(エネルギー)に対して反応が起こります。その反応を上手く利用するのが美容施術です。機器を使わない「手技」も、この刺激のひとつです。話を機器に戻すと、エネルギーは大きく分けて5つに分類されます。電気(高周波・低周波)、超音波、光、熱(温・冷)、物理刺激(吸引や振動など)等があります。実際に様々な方とお話しても、意外と「電気」「超音波」ですら違いを知らない方もいらっしゃいます。このように、エネルギーの種類と特性を正しく理解することで、目的にあった機器を選ぶことができます。